
北海道建築士会札幌支部 第2回青年委員会 議事録

開催日時：平成22年3月18日 19:00～21:40

開催場所：北海道建築士会札幌支部事務局

出席者：稲垣、針ヶ谷、金谷ブロック長、松本、浅沼、向山、川原、星野、小町

1. 若手建築士の交流会について（星野）

（1）参加者人数

青年委員11名、若手建築士11名（女性6名）

（2）概要

○日時：平成22年3月24日（水）19:30～（委員は19:15集合）

○場所：個室レストラン カラオケ オアシス

○会費：2,000円（1,000円／人程度、青年委員会で負担予定）

（3）スケジュール

○別紙による

（4）その他連絡事項

○出席する青年委員のメンバーカルテを当日配付する（作成：星野）

○あくまでも交流が目的なので、しつこい勧誘はしない

2. 第1回ブロック協議会について

（1）研修会（浅沼）

○各担当者

・プログラム作成（浅沼）

・横断幕（針ヶ谷）

・受付（星野・多田）

・写真係（松本）

・映像・音楽（川原）

・書記（多田・大矢）

○研修会の時間を30分延長し、13:00～16:30とする

○支部長、池田副支部長、森田さんへブロック協議会の案内する（針ヶ谷）

○お菓子の買い出し（星野）

○テーブルクロス（浅沼）

○詳しくは別紙による

(2) 協議会 (針ヶ谷)

○ブロック協議会の案内完成。3月19日に道央ブロックのメーリングリストへUPする

(3) 懇親会 (星野)

○チーム対抗のゲームを企画中 (お絵かき系)

○景品の予算は20,000円とする

3. 二級建築士講習会講師 (2教科) の依頼

○昨年、講習会を見学した委員に講師のお願いを試みたが下記の理由から良い返事をいただけない

- ・講師は不慣れなので、講習資料等の準備作業が膨大である
- ・講師を引受ける教科の中に苦手な内容があつて、教えることができるか不安
- ・この時期は仕事が忙しく、準備時間が確保できそうにない

○上記内容についての意見

- ・確かにその通り。準備にどれぐらいの労力が必要か想像できない
 - ・今年は、前年の講師と担当分けして、2人で講師をしてはいかがか
 - ・大学の非常勤講師をされているような建築士会会員が行うべきではないか
- もう一度、講習会担当の清水さんへ連絡して打合せることとする (針ヶ谷)

4. 「街」の原稿依頼

○青年のページ 4ページ分を担当

- ・青年委員長新任あいさつ (針ヶ谷) 1ページ
- ・合格祝賀会への参加、若手建築士の交流会 (星野) 3ページ

5. その他連絡事項

(1) 道央ブロック長からの連絡 (金谷ブロック長)

○道央ブロック協議会のキーワードを「連携」と「発信」する

(2) 全道青年委員会連絡会議について

○3月27日(土)かでの27にて開催

(3) 道央ブロックメーリングリストの更新

- 松本副委員長、重永副委員長を追加
- 交流委員長となった青木元委員を削除

(4) 札幌支部青年メーリングリストの更新

○オーナーの変更を行う (稲垣)

(5) 札幌支部青年委員会名簿の作成 (稲垣)

- 現状の名簿完成
- 後日事務局へ提出 (針ヶ谷)

(6) 全国青年委員長会議の報告 (針ヶ谷)

○別紙による

(7) 前回委員会、村井さんからの質疑回答

- 現在、銭函の職業能力開発大学校関係の仕事をしている。これから建築士を目指す学生をターゲットに勧誘活動をしてみてはいかがか（ポスターやPR資料を掲示など）
 - ポスターやPR資料を掲示する際は、掲示物を支部長や事務局長に確認すること。大学等へは支部長名で依頼文を提出するなどの配慮が必要（宮本さん）
- 学生が準会員として建築士会へ入会することができるのか、また、委員会活動をすることができるのかなど、わからないことが多い。事務局に相談してみます（針ヶ谷）
 - 学生は準会員になれます。青年委員にもなれます（宮本さん）。
賛助会員としての青年委員会参加については具体的事例に即して判断する。その後会員又は準会員となってもらようようにする（三浦事務局長）。